

プログラム名	<b>サンドアート</b>		時間	2～3時間
ねらい	1 海という自然に親しむとともに、自然物を利用して造る喜びを体得する。 2 創造性、表現力を高める。 3 活動をとおして、人間関係を深め協力のあり方を体得する。			
活動内容	1 活動形態 → グループ（5～10人） 2 「玄海の家」の前の砂浜でグループで協力し合い、砂や海藻などの自然物と型となる穴あきバケツを利用して、造形物を作る活動。			
対象	制限なし	活動可能人数	24グループ	
展 開 例	<b>1 集合</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本館への出入りは、<u>海浜出入口を必ず使用</u></li> <li>・指定された時間と場所にグループ別に集合（入所時に確認）</li> <li>・参加人員と健康状態の確認</li> </ul> <b>2 事前指導（「玄海の家」指導員・約10分）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明および諸注意</li> <li>・実施方法、用具の取り扱い方、マナー等</li> <li>・活動用具の配布（バケツ、穴あきバケツ、スコップ、移植ゴテ、等）</li> </ul> <b>3 活動</b> 海浜清掃 → 創作活動 → 鑑賞 → 用具の洗浄 （10分）           （1～2時間）   （10分）           （10分）			
	<b>4 事後指導</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人員確認および借用物の点検（「玄海の家」職員による）と返却</li> <li>・評価</li> </ul> <p>※海水浴の活動の中で実施する場合は用具の貸出しはしない。</p>			
実施上の留意点	1 活動場所について確実に <u>事前踏査を実施する。</u> （活動範囲と危険物を事前に把握する） 2 グループで計画し、行動を共にする。 3 松林に入らない。 4 <u>借用物の紛失に注意する。</u> 5 <u>熱中症防止のため、水分補給と帽子を着用する。</u> 6 砂の芸術より <u>細かい作業が多く難易度が高い</u>			
引率者の役割	活動中の安全確保、全体監視			
「玄海の家」で準備できる物	各グループ → バケツ（1）、穴あきバケツ（1）、スコップ（1）、移植ゴテ（2） 海浜清掃用ネット（人数に応じた数）、細かい道具			
利用団体で準備する物	タオル（個人）、ビーチサンダル、救急医薬品、水筒			